

広島交響楽団 新ディスカバリー・シリーズ

ウィーン

黄昏の維納

Dämmerung in Wien 4

ウィーンという街の持つ空気が、これらのシューベルト、スッペ、新ウィーン楽派の3人の作品に凝縮されています。華やかな通りの裏路地を歩いてみませんか。 ~下野竜也~

2018.2.22 [木] 18:45開演 (17:45開場) JMSアステールプラザ大ホール

スッペ：喜歌劇「スペードの女王」序曲
Suppe : *Pique Dame, Overture*

ヴェーベルン：パッサカリア Op.1
Webern : *Passacaglia Op.1*

シューベルト：交響曲第4番ハ短調 D417「悲劇的」
Schubert : *Symphonie Nr.4 in c-moll D417 "Tragic"*

Concertmistress 蔵川 瑠美
Rumi Kurakawa

- チケット料金/S席:5,200円 A席:4,200円 B席:3,200円 学生券:1,000円 (学生券は広響事務局のみで取り扱い)
 - チケット発売日/2017年12月22日(金)
 - チケット取扱い/JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、エディオン広島本店、福屋八丁堀本店、福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、広島アーツ楽器、ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場、チケットぴあ(Pコード318-950)、ローソンチケット(Lコード61968)、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)、広響事務局
- 主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社 共催/公益財団法人広島市文化財団
協賛/中国電力、広島銀行、広島電鉄、マツダ 後援/広島市、広島市教育委員会

助成/文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)

Affinis emblème 公益財団法人アフィニス文化財団

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。
お問い合わせ/広響事務局 TEL 082-532-3080 E-mail : info@hirokyo.or.jp http://hirokyo.or.jp/

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA



Tatsuyasu Shimamura

指揮：下野竜也

beyond 2020



下野竜也音楽総監督就任
~広響、新時代~

広島交響楽団 新ディスカバリー・シリーズ

ウィーン

黄昏の維納

Dämmerung in Wien 4

指揮：下野 竜也 *Conductor: Tatsuya Shimono*

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)

1969年鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年にはイタリア・シエナのキジアーナ音楽院でオーケストラ指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員として、(故)朝比奈隆氏をはじめ数多くの巨匠の下で研鑽を積む。1999年文化庁派遣芸術家在外研修員に選ばれ、ウィーン国立演劇音楽大学に留学、2001年6月まで在籍。

2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴び、以降、国際的な活動を展開。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、海外においても、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、ミラノ・ヴェルディ響、ストラスブールフィル、ボルドー管、ロワール管、ウィーン室内管、カンヌPACA管、チェコフィルハーモニー管、シュトゥットガルト放送響、南西ドイツフィルコンスタンツ、シリコンバレー響など次々と客演を重ねている。

読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年~2013年)を経て、同団首席客演指揮者(2013年~2017年3月)として、10年余りの間にヒンデミットとドヴォルジャークを軸としつつ新作初演まで取り組む意欲的な姿勢とプログラム構成で高い評価を得た。更に2014年4月からは京都市交響楽団の常任客演指揮者に就任し、2017年4月には、同団常任首席客演指揮者に就任。2011年から音楽監督を務める広島ウインドオーケストラとは、吹奏楽の分野に新たな一石を投じる活動で注目を集めている。

これまでに、2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、平成25年度第46回MBC賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、平成28年第67回南日本文化賞特別賞などを受賞。2017年、京都市立芸術大学音楽学部教授に就任。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



シューベルトの交響曲に駄作なし。にもかかわらず、演奏されるのは「未完成」と「グレート」ばかり——そんな十年一日の状況を、広島交響楽団が2シーズンにわたる全曲演奏で打ち破ってくれる。

さらにこのシューベルトを核にして、同じウィーンに根を下ろした後輩たち、喜歌劇で名を成したスッペと、現代音楽の先駆け新ウィーン楽派とを並べるあたり、慧眼の士・下野竜也らしい。

同楽団の多様性をじっくりと味わえる好企画である。

(アフィニス文化財団オーケストラ助成委員 船木 篤也)

次回ディスカバリー・シリーズ

黄昏の維納 *Dämmerung in Wien 5*

2018.6.29 [金] 18:45開演(17:45開場) JMSアステールプラザ大ホール

[Program]

- スッペ 喜歌劇「詩人と農夫」序曲
- シューベルト 主題と変奏
- シューベルト(ヴェーベルン編曲): ドイツ舞曲
- シューベルト: 交響曲第5番変ロ長調